



2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月15日
東

上場会社名 株式会社アスタリスク 上場取引所
 コード番号 6522 URL https://asx.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役執行役員社長 (氏名)鈴木 規之
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理統括室長 (氏名)石田 泰一 (TEL) 050(5838)7864
 定時株主総会開催予定日 2021年11月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日~2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	1,792	28.2	226	102.0	238	135.3	173	152.1
2020年8月期	1,398	22.1	112	70.5	101	85.1	68	△4.2

(注) 包括利益 2021年8月期 176百万円(157.9%) 2020年8月期 68百万円(△7.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	135.83	—	45.2	18.8	12.6
2020年8月期	53.88	—	26.3	11.3	8.0

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 -百万円 2020年8月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	1,479	472	32.0	369.47
2020年8月期	1,056	296	28.1	231.81

(参考) 自己資本 2021年8月期 472百万円 2020年8月期 296百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	380	△303	16	348
2020年8月期	10	△56	119	247

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日~2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,278	23.8	150	△38.8	147	△38.2	99	△45.5	58.38
通期	2,508	39.9	387	71.1	383	60.6	260	49.8	152.40

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期	1,280,000株	2020年8月期	1,280,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期	一株	2020年8月期	一株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	1,280,000株	2020年8月期	1,280,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2021年11月29日(月)に機関投資家・個人投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済の情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済や社会活動は制限を受け依然として厳しい状況にあります。景気動向の先行きについては、ワクチン接種の促進に伴う感染拡大の防止策が促進される中、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されておりますが、景気は依然として不透明な状況にあります。

このような環境下で、当社グループでは、中長期的な成長を維持する観点から画像解析技術をはじめとした技術開発を積極的に進め、さまざまな業界のDXのためのソリューションの提供を拡大してまいりました。

海外におきましては、米国の牧場向け、飲料メーカー向けなどの案件を進めるとともに、新規顧客開拓に鋭意努めてまいりました。

当連結会計年度の業績は、売上高1,792,912千円(前年同期比28.2%増)、営業利益226,649千円(同102.0%増)、経常利益238,850千円(同135.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益173,856千円(同152.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①AsReader事業

AsReader事業の連結売上高は1,467,230千円(前年同期比36.7%増)、セグメント利益は366,919千円(同105.8%増)となりました。国内では、新たに自動車メーカー、ホームセンター、工具メーカー向け納入があった他、飲料メーカー向けや医薬品業界への販売が堅調に推移しました。海外向けでは、新型コロナウイルスの影響により展開が遅れておりますが、米国において新たに畜産業界でRFIDリーダーの納入が2020年12月より2021年3月に行われました。また飲料メーカー向けのバーコードリーダーの納入が2021年6月より順次進められているなど、大型案件の受注を獲得し、海外における市場拡大が進んでおります。

一方で、収益を見込んでいた大手アパレル向けの特許使用料につきましては、特許権を第三者に売却し、特許に係る技術的なコンサルタント業務契約を締結することで一定の収益を確保することとなりました。

②システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業の連結売上高は325,682千円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益は39,127千円(同49.9%減)となりました。飲食店向けのシステム開発、家電量販店向けシステム開発、アパレル向けシステム開発、飲料メーカー向けシステム開発、リース会社向けシステム開発、物流向けシステム開発、菓子店向けシステム開発があり、一部案件は計画より進捗が遅れておりますが、概ね堅調に推移しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、1,479,719千円となり、前連結会計年度末の1,056,515千円と比べ、423,203千円の増加となりました。その主な要因は、売掛金の減少177,414千円、その他流動資産の前渡金の減少20,376千円、原材料及び貯蔵品の増加28,351千円、繰延税金資産の増加32,303千円、現金及び預金の増加101,432千円、商品及び製品の増加196,379千円、有形固定資産取得による増加270,691千円によるものです。

当連結会計年度末における負債合計は、1,006,801千円となり、前連結会計年度末の759,801千円と比べ247,000千円の増加となりました。その主な要因は、その他流動負債の前受収益の増加15,209千円、賞与引当金の増加15,318千円、短期借入金の増加91,000千円、買掛金の増加19,870千円、その他流動負債の前受金の増加72,004千円、未払法人税の増加91,990千円、1年内返済予定の長期借入金の減少33,129千円、長期借入金の減少41,155千円によるものです。

当連結会計年度末における純資産合計は、472,917千円となり、前連結会計年度末の296,714千円と比べ176,203千円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ101,432千円増加し、当連結会計年度末には348,721千円(前連結会計年度末残高は247,289千円)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、380,379千円の資金増加(前年同期は10,764千円の資金増加)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益266,413千円、売上債権の減少179,859千円、その他流動負債の前受金の増加72,004千円、固定資産の減価償却費41,013千円、その他流動資産の前渡金の減少20,376千円、賞与引当金の増加14,946千円及び仕入債務の減少13,237千円が資金増加の要因、たな卸資産の増加223,638千円及び法人税等の支払額31,235千円が資金減少の要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、303,632千円の資金減少(前年同期は56,642千円の資金減少)となりました。

これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得が、資金減少の要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、16,716千円の資金増加(前年同期は119,542千円の資金増加)となりました。

これは主に、借入金の純増が資金増加の要因であります。

(4) 今後の見通し

さまざまな業界でDX(IoTを活用した自動化、業務効率化)の流れが加速している中で、当社の主力商品の「AsReader」は、かかる世の中のニーズに対し、専用コンピュータがパソコンに置き換わったように、ハンディターミナルのような既存の各種専用端末が汎用性の高いスマートフォンに置き換わり、「スマートフォンで業務を行う」ことで、多様なソリューションを提供することにより、市場競争力の強化、シェアの拡大を見込んでおります。また、自動認識技術を活用した新製品として、セミセルフレジ(「人検出・動体追跡」技術を活用したスーパーマーケットなどでのレジ精算における係員負担軽減と不正精算を抑止するソリューション)や、画像認識安全監視システム「AsWatcher」(「画像認識」技術で進入禁止ゾーンへの人の侵入を検知して警報するセキュリティ強化ソリューション)の拡販を目指しております。

具体的には、東日本地区では自動販売機メーカー、流通業者などに向けた大型案件の成約を見込んでおります。西日本地区では、自動車メーカー向けの納入が順調に進捗している他、医療機関向け、調剤薬局向けの納入も順調に拡大しています。海外展開につきましては、米国子会社では、飲料メーカー向けの新規大型案件の納入が順次進捗しております。また医療業界向けにも導入を見込んでおり、前年度比で大幅な増収を見込んでいます。一方オランダ子会社での事業構築は、新型コロナウイルスの影響により、営業基盤の構築にはある程度の時間を要する見込みですが、商材管理や在庫管理に関する導入交渉を進めており、案件化に向けて取り組んでまいります。

このような環境の中、翌連結会計年度(2022年8月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高2,508,493千円(前年同期比39.9%増)、営業利益387,710千円(同71.1%増)、経常利益383,510千円(同60.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益260,408千円(同49.8%増)を予想しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1US\$=110円、1ユーロ=130円を想定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	247,889	349,321
売掛金	342,103	164,689
商品及び製品	284,905	481,284
原材料及び貯蔵品	34,165	62,517
その他	60,060	39,461
貸倒引当金	△2,754	△1,305
流動資産合計	966,370	1,095,969
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,993	1,993
減価償却累計額	△243	△442
建物附属設備(純額)	1,750	1,550
工具、器具及び備品	113,631	127,468
減価償却累計額	△82,799	△118,440
工具、器具及び備品(純額)	30,832	9,027
土地	—	292,589
その他	—	641
減価償却累計額	—	△534
その他(純額)	—	106
有形固定資産合計	32,582	303,274
無形固定資産	21,170	12,653
投資その他の資産		
繰延税金資産	23,387	55,690
その他	13,359	12,486
貸倒引当金	△355	△355
投資その他の資産合計	36,392	67,821
固定資産合計	90,145	383,750
資産合計	1,056,515	1,479,719

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,002	162,873
短期借入金	270,000	361,000
1年内返済予定の長期借入金	89,884	56,755
未払金	37,069	40,727
未払法人税等	27,094	119,084
賞与引当金	23,618	38,936
製品保証引当金	9,539	11,183
受注損失引当金	—	1
その他	36,317	134,119
流動負債合計	636,525	924,681
固定負債		
長期借入金	121,632	80,477
資産除去債務	1,643	1,643
固定負債合計	123,275	82,120
負債合計	759,801	1,006,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
資本剰余金	140,000	140,000
利益剰余金	5,234	179,091
株主資本合計	295,234	469,091
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,479	3,825
その他の包括利益累計額合計	1,479	3,825
純資産合計	296,714	472,917
負債純資産合計	1,056,515	1,479,719

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	1,398,155	1,792,912
売上原価	747,712	955,677
売上総利益	650,442	837,234
販売費及び一般管理費	538,212	610,585
営業利益	112,230	226,649
営業外収益		
受取利息及び配当金	82	25
為替差益	—	15,185
雑収入	93	1,251
営業外収益合計	175	16,462
営業外費用		
支払利息	5,224	4,261
為替差損	5,670	—
営業外費用合計	10,895	4,261
経常利益	101,510	238,850
特別利益		
特許権売却益	—	18,000
補助金収入	4,459	9,473
受取保険金	0	33
その他	—	56
特別利益合計	4,459	27,562
税金等調整前当期純利益	105,970	266,413
法人税、住民税及び事業税	30,531	121,424
法人税等調整額	6,468	△28,867
法人税等合計	36,999	92,556
当期純利益	68,970	173,856
親会社株主に帰属する当期純利益	68,970	173,856

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益	68,970	173,856
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△643	2,346
その他の包括利益合計	△643	2,346
包括利益	68,326	176,203
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	68,326	176,203
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	150,000	140,000	△63,735	226,264
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			68,970	68,970
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	68,970	68,970
当期末残高	150,000	140,000	5,234	295,234

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,123	2,123	228,387
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			68,970
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△643	△643	△643
当期変動額合計	△643	△643	68,326
当期末残高	1,479	1,479	296,714

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	150,000	140,000	5,234	295,234
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			173,856	173,856
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	173,856	173,856
当期末残高	150,000	140,000	179,091	469,091

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,479	1,479	296,714
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			173,856
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,346	2,346	2,346
当期変動額合計	2,346	2,346	176,203
当期末残高	3,825	3,825	472,917

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	105,970	266,413
減価償却費	27,936	41,013
補助金収入	△4,459	△9,473
受取保険金	△0	△33
特許権売却益	—	△18,000
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	3,531	1,643
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	841	△1,449
賞与引当金の増減額 (△は減少)	544	14,946
受取利息及び受取配当金	△82	△25
支払利息	5,224	4,261
売上債権の増減額 (△は増加)	△107,611	179,859
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△99,928	△223,638
仕入債務の増減額 (△は減少)	98,615	13,237
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△14,919	23,049
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,623	92,970
未払金の増減額 (△は減少)	387	△183
その他	△251	3,288
小計	17,423	387,881
利息及び配当金の受取額	82	25
利息の支払額	△5,569	△3,798
法人税等の還付額	1,579	—
法人税等の支払額	△7,211	△31,235
補助金の受取額	4,459	9,473
保険金の受取額	0	33
特許権売却益の受取額	—	18,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,764	380,379
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,835	△302,053
無形固定資産の取得による支出	△10,838	△1,527
定期預金の預入による支出	△2,000	—
定期預金の払戻による収入	7,701	—
その他	329	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,642	△303,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	69,148	91,000
長期借入れによる収入	130,000	90,000
長期借入金の返済による支出	△79,606	△164,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,542	16,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	△888	7,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,774	101,432
現金及び現金同等物の期首残高	174,514	247,289
現金及び現金同等物の期末残高	247,289	348,721

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別にセクション(部署)を置き、包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は、扱う製品・サービス別に「AsReader事業」「システムインテグレーション事業」の2つを報告セグメントとしております。

「AsReader事業」は、スマートフォンやタブレットに代表される「モバイル」による業務改革をコンセプトにしたハードウェア製品と、当社独自の画像認識技術やAI技術を用いたソフトウェアとしての製品・サービスの開発及び販売を行っている事業です。「システムインテグレーション事業」は、AsReader導入などに関わるソフトウェアの受託開発を中心とした事業です。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	AsReader事業	システムイン テグレーション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,073,227	324,927	1,398,155	1,398,155	—	1,398,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,073,227	324,927	1,398,155	1,398,155	—	1,398,155
セグメント利益	178,307	78,025	256,332	256,332	△144,102	112,230
セグメント資産	599,359	114,419	713,779	713,779	342,736	1,056,515
その他の項目						
減価償却費	27,462	51	27,513	27,513	422	27,936
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	54,002	—	54,002	54,002	3,055	57,058

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- セグメント利益の調整額△144,102千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - セグメント資産の調整額342,736千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産、等であります。
 - 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3,055千円は、主にソフトウェアの上場申請資料作成システムであります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	AsReader事業	システムイン テグレーション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,467,230	325,682	1,792,912	1,792,912	—	1,792,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,467,230	325,682	1,792,912	1,792,912	—	1,792,912
セグメント利益	366,919	39,127	406,047	406,047	△179,397	226,649
セグメント資産	671,641	59,218	730,860	730,860	748,858	1,479,719
その他の項目						
減価償却費	39,430	209	39,639	39,639	1,374	41,013
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	9,993	1,005	10,999	10,999	294,782	305,782

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△179,397千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額748,858千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、研究所用土地、繰延税金資産、等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額294,782千円は、主に研究所用土地及びソフトウェアの上場申請資料作成システムであります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
 3. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため、記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	その他	合計
1,246,356	142,156	9,642	1,398,155

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	韓国	アメリカ	その他	合計
8,944	15,230	6,429	1,883	95	32,582

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	203,915	AsReader事業
株式会社サトー	139,777	AsReader事業

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	その他	合計
1,595,325	187,644	9,942	1,792,912

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	360,458	AsReader事業
株式会社NTTドコモ	226,164	AsReader事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	231.81円	369.47円
1株当たり当期純利益	53.88円	135.83円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	68,970	173,856
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	68,970	173,856
普通株式の期中平均株式数(株)	1,280,000	1,280,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類(新株予約権の数118,700個)。	新株予約権4種類(新株予約権の数154,700個)。

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、2021年9月30日付で東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2021年8月25日及び2021年9月8日開催の取締役会において、以下のとおり公募による新株式の発行を決議し、2021年9月29日に払込が完了いたしました。

1	募集方法	一般募集(ブックビルディング方式による募集)
2	発行した株式の種類及び数	普通株式 350,000株
3	発行価格	1株につき3,300円
4	引受価額	1株につき3,036円
5	払込期日	2021年9月29日
6	発行価額の総額	1,155,000千円
7	引受価額の総額	1,062,600千円
8	増加した資本金及び資本準備金に関する事項	増加した資本金の額 531,300千円 増加した資本準備金の額 531,300千円
9	申込期間	2021年9月21日から2021年9月27日まで
10	株式受渡期日	2021年9月30日
11	資金の使途	公募による株式発行の調達資金は、設備資金として、研究所ビル建設費用及び研究開発・評価設備の取得費用、借入金の返済として研究所ビル建設用地取得のための短期借入金の返済に充当する予定であります。

(第三者割当増資による新株式の発行)

当社は、2021年8月25日及び2021年9月8日開催の取締役会において、以下のとおり、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、第三者割当増資による新株式の発行を決議いたしました。

1	募集方法	第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出し)
2	発行する株式の種類及び数	普通株式 52,500株
3	割当価格	1株につき3,036円
4	申込期日	2021年10月28日
5	払込期日	2021年10月29日
6	割当価格の総額	159,390千円
7	増加する資本金及び資本準備金に関する事項	増加する資本金の額 79,695千円 増加する資本準備金の額 79,695千円
8	資金の使途	第三者割当増資による新株式発行の調達資金は、公募による株式発行の調達資金と合わせて、設備資金として、研究所ビル建設費用及び研究開発・評価設備の取得費用、借入金の返済として研究所ビル建設用地取得のための短期借入金の返済に充当する予定であります。

注：オーバーアロットメントによる売出しは、上記の公募による新株式発行に伴い、その需要状況を勘案し、岡三証券株式会社が行う売出しであります。従って、オーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式は上限株式数を示したものであり、需要状況等により減少する場合、又はオーバーアロットメントによる売出しが全く行われない場合があります。